

令和2年度 外部評価委員による主な意見

令和3年2月18日(木)

1. 優秀な入学者の確保

- ・オープンキャンパスに参加したが、専攻の実習体験では、学生がしっかりと説明をしてくれる。1年生でそこまで説明できるようになったのは凄いと思う。
- ・農業高校も情報発信を工夫してやっている。最近は農業大学校もメディアで目にする機会が多くなってきていると思う。それにより高校生の農大への興味関心が高くなっていると思う。
- ・若い人はInstagramや写真を見るので、Instagramを学生に作らせて発信させたらどうか。若い人の感性で作ると共感を得やすいのではないか。

2. 高い技術力や経営力の習得

- ・スマート農業に対応した最新の農業機械が入るとのことだが、一般の農家もそのような最新機器は気になる。学生がそれらを使って取り組んだ卒論を聞きたいと思う農家は多いと思う。知的財産の確認等は必要だろうが、CATVやyoutubeなどのメディアを使って外に発信できないか。

3. 全ての学生の進路決定

- ・就農に当たって環境制御などの最新施設・機材を導入する際には多大なコストが掛かるので親や周囲が止めがちだが、それを回収できる技術の習得が出来ていれば十分回収できるので止めないようにしたい。

4. 農業者研修の充実

- ・一般の農業者もドローンの免許を農大で取れるようになったらいい。